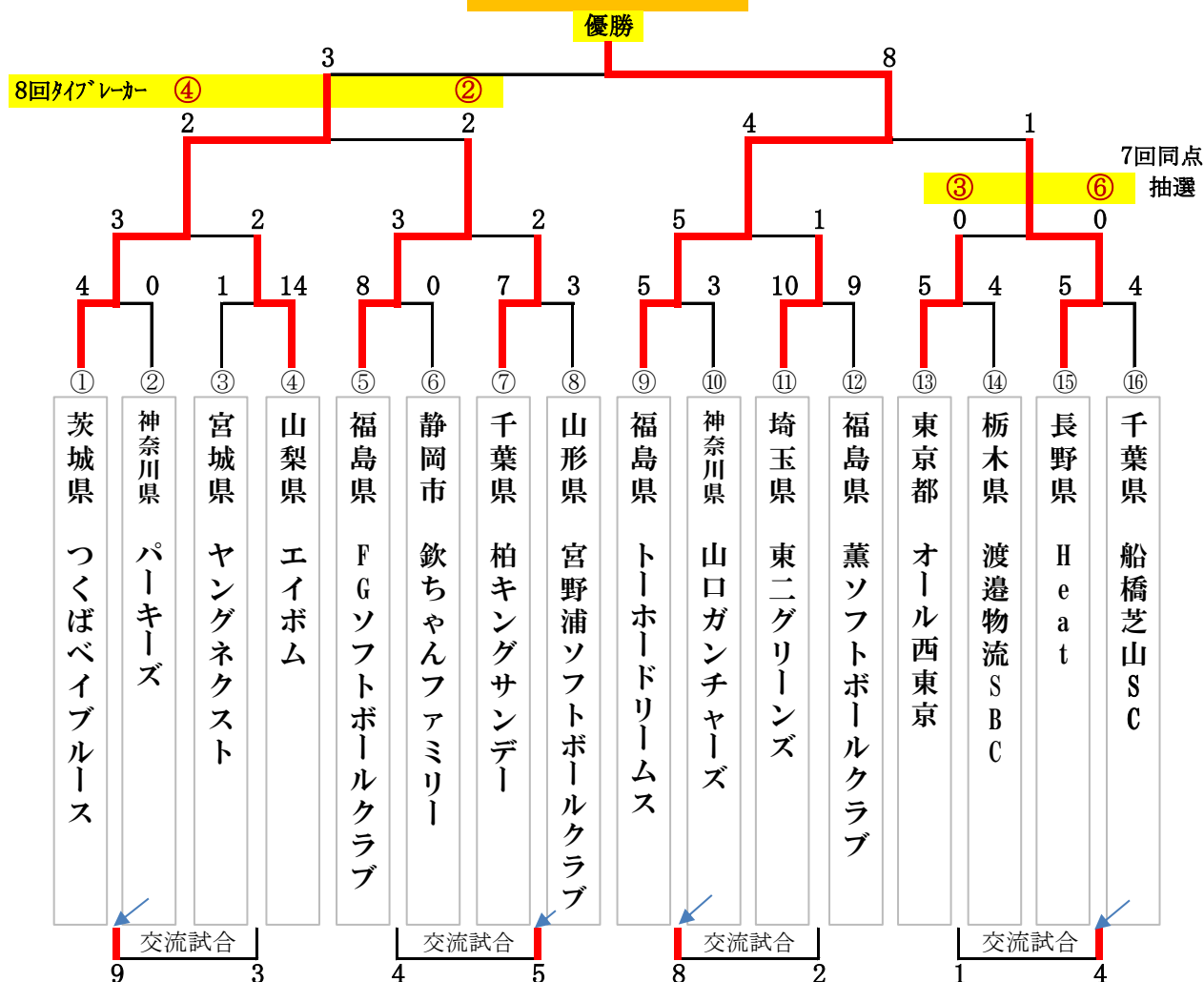


第14回東日本ソフトボール大会 組合せ表

2019年9月28～29日

古河市上大野グラウンド

トーホードリームス



第14回東日本ソフトボール大会が、絶好のコンディションのもと茨城県古河市上大野グラウンドにて開催されました。

各都県地域に於いてトップクラスのチームが、上位進出もしくは優勝を目指し意気込み高く出場されました。出場チーム中、6チームが初出場のフレッシュな大会となり、どのチームが勝ちあがるか予想も出来ない高いレベルの東日本大会となりました。

ソフトボールの最大の魅力である、スピード感溢れる攻守のせめぎ合い、一点を争うスリリングな試合展開など、ワクワク感を十分に感じながらの試合が続きました。タイブレーカー有り、同点抽選有り・逆転サヨナラゲーム有りと、『選手にとっても』『見る者にとっても』手に汗握る緊迫した試合など、多くの人たちにソフトボール競技の楽しさと感動を与えられた大会でもありました。優勝した福島県「トーホードリームス」は矢澤投手の力強い投球を中心に、攻守バランスの取れた高いレベルを發揮し、前年開催した福島県での全国大会準決勝での敗退をばねにして、見事優勝を果たしました。一方、準優勝の地元茨城県「つくばベイブルース」は、大会ナンバーワンの呼び声高い星野投手を中心に守り抜き、バンドや足を絡ませた攻撃で活路を見出し、苦戦をしながらも競り勝って決勝戦の舞台に名乗りを上げてきました。しかし準決勝戦での「FGソフトボールクラブ」との戦いで、8回タイブレークまで戦う激戦が大きく響いた感も有り、決勝戦では優勝の夢を叶う事が出来ませんでした。いずれにしても、ベスト4に残ったチームは、今後スポーツ連盟の大会に拘わらず、様々な地域に於いて活躍することは間違いない事でしょう。皆様の今後の検討を心から願います。

出場された全てのチームが、素晴らしく整備されたグラウンドで試合が出来たことに感謝をし、大満足をして帰られました。地元茨城県西地区、古河市ソフトボール協会様有難う御座いました。

2020年はオリンピックイヤーの年で有ると共に、新日本スポーツ連盟第33回全国スポーツ祭典開催の年でもあり、第28回全国ソフトボール大会を開催いたします。また来年も会えることを楽しみにしています。